

# 2013年度フォーラム総会報告

## 2013年度フォーラム総会報告

5月18日(土)、教育会館会議室で2013年度ぐんま教育文化フォーラム総会が開催されました。坂田尚之さんを議長に迎えて議事を進行しました。

### 2012年度の活動を振りかえる

近現代史ゼミ、教育相談、スタジイ楽書会などが活発な活動を展開してきました。行事としては、10月に「男女共学」シンポジウムが開催され、率直な意見交換が行われました。4回のニュース発行には多くのスタッフが取材や編集に関わり、内容豊かなものが出来上がり、会員の皆様からも高い評価を受けました。また、ホームページの刷新に取り組み、現在、少しずつですが内容を豊かにしつつあります。ぜひ、新ホームページにアクセスしてください。

### 寄せられたハガキから

総会に向けて会員の皆様からご意見をいただきました。

「ニュース16号の『福島に生きる』がよかった。『韓国通信』の市塚さんの主張に知的誠実さを感じた。」

「他の団体の活動を紹介するのではなく自分たちの活動を述べてほしい」

「学校現場の実状が反映されていない」  
これらの意見を活かして今年度の活動をさらに豊かなものにしていこうと思います。

### 2013年度の活動に向けて

部会の活動がフォーラムの軸になると考えています。しかし、部会を担うスタッフは必ずしもしっかりと配置されていません。今年度は広く、積極的に呼び掛けて人材を発掘し、活動に結び付けて行きます。

また、ホームページのあり方について、運営委員会で議論し、部会の活動やイベントを紹介するにとどまらず、ニュース「育

ちと学び」の記事についても可能な限り掲載することで当フォーラムを広く社会に認知してもらいます。

活動を通じて、教育や文化活動に関わる人たちに元気になってもらいます。

### 新運営委員の顔ぶれ

今年度、新たに3人の運営委員が加わりました。若林孝範さん、坂田尚之さん、加納順子さんです。若林さんはフォーラムの広報係を自認し、ホームページの作成やコンピュータの管理を担当してくれます。坂田さんと加納さんは「原発・自然エネルギー部会」を担当します。期待しましょう。

### 出席者の発言から

◎内藤先生のお話が好きで近現代史ゼミには皆勤です。次回を楽しみにしています。

◎学校図書館と子どもメディア研究部会の活動に関心がありますが「メディア」の話は私にとって間口が広くて焦点が定まりません。帰宅してから、「今日は何をやったのだろう」と分からなくなることがあります。

◎勤務する高校で生徒対象のアンケート調査がありました。「交通ルール、校則、服装頭髪のルールを守っていますか？学校が好きですか？」には足が震えました。若い教員は「なぜ聞いちゃいけないんですか？」という反応でしたが、内心の自由の問題に触れてはいけないと思うのです。教務主任に質問したら「県教委から『ぜひ聞いてくれ』と言われている」と答えました。また足が震えました。

(文責：倉林 順一)